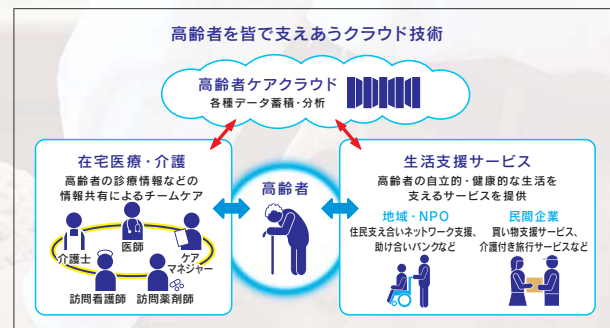


そのクラウドは、
高齢者の生きがいと、
日本の元気に
つながっている。



CASE.2 高齢者ケアクラウド

おばあちゃん、もう元気になったね。ご家族との旅行も大丈夫だよ。
10年後には人口の約3割が65歳以上という超高齢社会を迎える日本。高齢者が毎日安心して暮らしていくために、医師が高齢者のお宅を訪ねて診療を行う「在宅医療」が求められています。富士通は、在宅医療をはじめ、高齢者の生活全般を支えるクラウドサービス「高齢者ケアクラウド」を提供しています。例えば、訪問した介護士が高齢者の健康状態などの情報をスマートデバイスで入力し、クラウド上に蓄積。その情報は、医師、ケアマネジャー、訪問看護師、訪問薬剤師といった他の担当者も共有することができ、多職種連携による24時間365日の在宅チームケアを実現しています。また、診療だけではなく、地域自治体やNPO、民間企業とも連携し、食料品や日用品などをお届けする買い物支援サービスや、介護付き旅行をはじめとした親孝行サービスなど、高齢者が住み慣れた場所で自分らしく過ごせるために必要なサービスへつなげることで、日本発の「高齢先進国モデル」の確立に貢献していきます。



富士通は、豊富な実績をベースに、クラウドサービス、ビッグデータ活用、それらの基盤となるコンピュータやネットワーク技術など、最先端のICTの力を結集し、あらゆる環境に最適化したシステムをトータルで提供。さまざまなビジネスシーンに新しい価値を生みだし、人にやさしい豊かな社会「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」の実現を目指しています。

あなたの未来に。富士通の技術



夢をかたちに

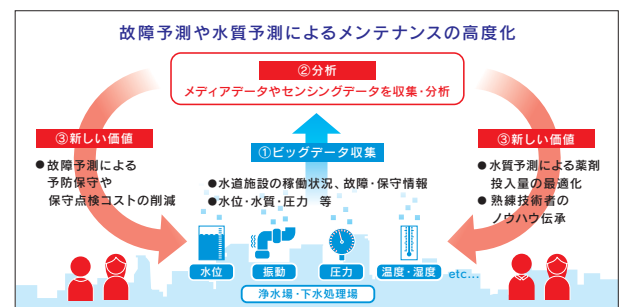
shaping tomorrow with you

そのビッグデータは、
大切な資源を見守り、
暮らしを安心して
うるおしていく。



CASE.6 ビッグデータソリューション (水道篇)

「キレイな水がいつでも飲めるって、うれしいね。」
毎日多くの人が利用している水道水。実はこの美味しくて安全な水を届ける水道施設の保守・管理にビッグデータの活用が普及しつつあります。富士通では、水道インフラを手掛けている事業者様と共同で、ビッグデータ解析による施設保守点検に取り組んでいます。例えば、施設内のセンサーから、水質、水位、圧力、振動や温度、さらに画像や音響などの多様なデータをリアルタイムに収集。それらに過去の保守履歴のデータを組み合わせ、分析することで、施設の状態変化や異常を検知し、老朽化や故障時期を予測することができます。これにより、効率的なメンテナンスが可能となり、点検にかかる工数の削減や安全性の向上を目指しています。また、保守点検業務へのAR技術*の導入により、課題と言われていた熟練技術者のノウハウ伝承にも貢献。タブレットをかざすだけで部品情報や作業手順が表示されるため、誰が作業しても安定した品質を確保できるようになります。こうしたビッグデータの活用は水道施設だけでなく、飛行機や橋、道路など様々な社会インフラに活用されはじめています。



*AR: Augmented Reality (拡張現実)。人間の五感で得られる情報(現実)に、ICTを活用して得られるデジタル情報を重ね合わせて、人間の感覚を拡張・強化する技術。

人、モノ、サービス、社会インフラなど、あらゆるものがネットワークにつながっていく、新たな世界がはじまっています。富士通は、この世界で「人・情報・インフラ」の3つの資源を融合し、新たな価値を生み出す「ヒューマンセントリック・イノベーション」によって、より安全で、豊かな社会の実現を目指しています。

あなたの未来に。富士通の技術



水道施設

機器や施設の故障を予測。最適なメンテナンスを実現。



飛行機



橋

老朽化や破損の予兆を検知し、事故発生率の低下・安全性の向上を実現。



道路